

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科		
科目名称	英語B [English B]			実務経験教員担当		アクティブラーニング ○	
科目コード	750004	授業形態	演習	単位数	2	配当学年	2年次
教員氏名	ブライアン・スモル			学位授与の方針との関連	DP1(2), 3(4)		
授業概要	<p>英語コミュニケーションIと英語Aの土台から英語と言語と人類を深く考えることである。授業の目的は一般教養プログラムに触れながら広く使える言葉を創造的に使えるようになることである。人類の思想や技術の、また生命の、流れを英語で考えられるようになることである。授業の構成(人数と参加者の関心度)による、ミナマルコントラストによる、段階的直接的に英語のレッスンを教えるように模擬授業する。教科書「絵で見る英語 Book 3」は1070語だけの英語を使って「自由社会の一般教育」のプログラムと触れ合えることできる。簡潔な言葉で深いことを考えたり、話したりして「多様な人々」と「幅広い教養」を共有できるはず。この授業はさまざまな「異なる文化」の思想と触れ合う本を話しながら「主体性をも」ちながら「文化を越えて交流」しながら「問題解決できる人」へ目指す機会です。</p>						
関連する科目	「英語コミュニケーション」と「英語A」を本科目の履修前に必ず受講すること。一般教養です。探れば、全ての科目に関連を見つけることができるはず。						
授業の進め方と方法	「絵で見る英語 Book3」を読んでディスカッションをする。必要であればBook1とBook2を触り変えて復習したり、ライブをしたりします。ディスカッションと関心の行方によって、記事やインタビューを読んで話し合います。						
授業計画	<p>学習者のニーズと関心によって基礎復習と内容調整することがある。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. _English Through Pictures Book 3_ (EP3) pp. 1-7 : Where is "here"?  <ul style="list-style-type: none"> <li>- What number of people are living on our earth today?</li> <li>- See on-line numbers from the United Nations, on-line <a href="http://esa.un.org/unpd/wpp/unpp/panel_population.htm">http://esa.un.org/unpd/wpp/unpp/panel_population.htm</a></li> </ul> </li> <li>2. pp. 9-17 : People, food and cities  <ul style="list-style-type: none"> <li>- What are today's cities like?</li> <li>- See Mike Davis's 「Planet of Slums」</li> <li>- スラムの惑星 : 都市貧困のグローバル化 / マイク・デイヴィス著、篠原雅武、丸山里美訳</li> <li>- 都城図書館 都城開架 368.2 D</li> <li>- Is there enough food for everyone?</li> <li>- See on-line pages: <a href="http://foodfirst.org/">foodfirst.org/</a></li> </ul> </li> <li>3. pp. 18-26 : Food, machines and transport  <ul style="list-style-type: none"> <li>- See Borsodi, _This Ugly Civilization_</li> <li>- "... the right kind of machinery must be used to free man from the tyranny of the wrong kind of machinery."</li> <li>- <a href="http://soilandhealth.org/03sov/0303critic/030302borsodi.ugly/030302borsodi.toc.html">http://soilandhealth.org/03sov/0303critic/030302borsodi.ugly/030302borsodi.toc.html</a></li> </ul> </li> <li>4. pp. 27-32 : Grains and milk  <ul style="list-style-type: none"> <li>- See the documentary, _King Corn_</li> </ul> </li> <li>5. pp. 33-39 : Seeds, animals, bread and flour  <ul style="list-style-type: none"> <li>- See David Kirby, _Animal Factory_ interview.</li> <li>- <a href="http://www.democracynow.org/2010/8/24/david_kirby_on_the_looming_threat">http://www.democracynow.org/2010/8/24/david_kirby_on_the_looming_threat</a></li> <li>- See Mike Davis's _Monster at our Door: the global threat of avian flu_</li> <li>- 感染爆発 : 鳥インフルエンザの脅威 / マイク・デイヴィス著 ; 柴田裕之, 齊藤隆央訳</li> <li>- 宮崎図書館 宮崎開架(大学) 493.87 D</li> </ul> </li> <li>6. pp. 40-47 : Work, needs, languages and communication</li> <li>7. pp. 48-56 : Language as a bridge, commons and learning</li> <li>8. pp. 57-64 : Writing and learning, machines</li> <li>9. pp. 65-71 : Learning help, language and air</li> <li>10. pp. 72-79 : Blood and circulation, heart as pump, William Harvey</li> <li>11. pp. 80-87 : Oxygen and burning, Joseph Priestley</li> <li>12. pp. 88-95 : Body temperature control, Galileo and measuring time</li> <li>13. pp. 96-103 : Seeing is proof for most people, Columbus, Magellan and The Philippines</li> <li>14. pp. 104-112 : Scientists and ideas, Ptolemy, Copernicus, Galileo, seeing new worlds</li> <li>15. pp. 112-119 : Life, complex and interdependent</li> </ol>						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 数多くないシンプルな言葉を広く使える。[理解を応用し活動する能力]</li> <li>2. 一般教養に意義を感じて、歴史や文学や哲学などに関心を持つこと。[Great Conversation] 人類の会話に(観察者に限っても)参加する価値を感じる。[国際性の涵養、国際社会の発展に寄与]</li> </ol>						
授業時間外の学修	<p>「予習と復習」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 教科書「絵で見る英語 Book 3」をゆっくりと深く付き合う。</li> <li>- 音声ファイルを聞いて、時間を無駄にしないように英語を言えるようにする。</li> <li>- Book 3に分りにくい文章があったら Book 1 と Book 2 を参考にする。</li> <li>- Metaphor(比喩、隠喩)を意識して言語などを考える</li> <li>- Book 3の内容に時事問題に繋げることできるか考える。</li> <li>- Book 3の内容と文学を考える。</li> <li>- Book 3と教養(一般教育)の関係を考える。</li> </ul> <p>【一般教養生涯学習】 「授業で紹介したオンラインでフリーなトランスクリプト(リーディング)とビデオ(リスニング)を参照にする。」</p> <p>「授業で紹介した作家のエッセーや本などを読んで考える」</p>						
課題に対するフィードバック	ワークシートやプリントに対する文の訂正や返事。	評価方法・基準		授業とワークシートの努力20点、定期テスト、80点。 または関心や相談に応じて、テストの代わりに、レポート。			
テキスト	<p>「絵で見る英語 Book 3 改訂新版 English Through Pictures Book 3」   - I・A・リチャーズ(共著)、クリスティン・ギブソン(共著)   - 出版社: IBCパブリッシング</p>						

参考書	<p>- 「First Steps in Reading English 絵で読む英語」   - I・A・リチャーズ (著者)、クリスティン・ギブソン (著者)   - 「絵で見る英語 Book 1 改訂新版 English Through Pictures Book 1」   - I・A・リチャーズ (共著)、クリスティン・ギブソン (共著)   - 「絵で見る英語 Book 2 改訂新版 English Through Pictures Book 2」   - 出版社: IBCパブリッシング   - 「ベーシック先生の基本動詞でこれだけ言える英語術」 著者: A Group of Basic English Teachers 出版社: 松柏社   - 「850語で考える英語 English Made Simple」 ベーシック イングリッシュ 著者: 後藤 宏、出版社: 松柏社  </p>
備考	<p>- 教科書を授業に持って来る。   - 英語の発音の不安に時間を無駄にしないようにBook 3の音声ファイルを聞いておく。   - Book 3から出発して読んだ本、習った歴史の話に参加できるように準備しておく。   - 授業に入る前から携帯電話の電源を切る。   - 携帯をバッグに入れておく。</p>